

川上ダム通信

2011
12
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

小学生を「水の調査隊」に任命!!

10月27日(木)伊賀市立長田小学校の1~3年生の計20名が「水の調査隊」として川上ダムの見学に来ました。「水の調査隊」は、これからの地域を担う周辺の小学生を対象にダム事業関連の工事現場やダム計画地周辺の環境を実際に見聞することにより、水、ダム及び水源地周辺の環境について、より理解を深めていただくための取り組みです。

当日は当建設所にて、まず、今回より任命証を授与することにしまして、小学生の皆さんを「水の調査隊員」に任命しました。その後職員より水の大切さやダムのはたらき、オオサンショウウオの生態について説明しました。多くの小学生がダムのはたらきなどは、よく理解しておりダムのクイズを簡単に解いていました。



水やダム等について学ぶ様子



仮排水路トンネル内を歩きました

で使用しているマイクロチップの読み取りを体験してもらいました。普段見ることがないオオサンショウウオに小学生は目を輝かせていました。

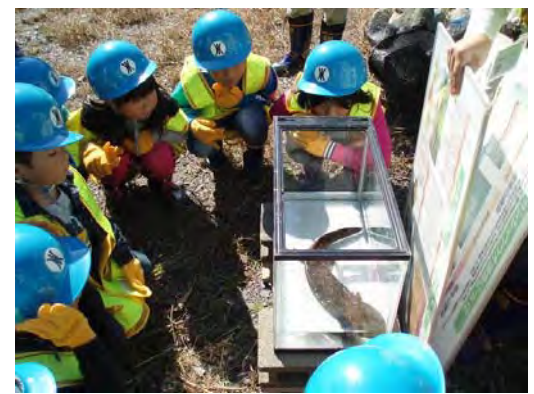
今後も多くの小学生を対象に「水の調査隊」を実施したいと思います。希望される小学校は、是非川上ダム建設所までご連絡下さい。お待ちしております。

なお、当日の様子は、伊賀上野ケーブルテレビより取材を受け、i-city ニュース(10月28日放送)にて紹介されました。

説明後は、仮排水路トンネル及びオオサンショウウオ保護池を見学しました。

仮排水路トンネルは水を流すためのトンネルであり、小学生にとっては珍しく、実際にトンネルの中を歩き、楽しみながらダムについて学んでもらうことができました。

オオサンショウウオ保護池ではオオサンショウウオを実際に間近で見てもらい、生態や保全の取り組みについて説明をしました。この中で、実際にオオサンショウウオの個体識別



オオサンショウウオを間近で見学

【第二用地課 松高遵】

県道青山美杉線付替工事の状況

① 青美線トンネル工事

現在トンネル内部で写真①のように半円形の型枠を設けてトンネル内面をコンクリートで仕上げる作業を行っています。型枠の長さは約9mあり、1回の型枠移動で約9mの内面コンクリートが仕上がります。1回の作業が終了するごとに、型枠下部のレール上を次の施工区間へ移動させ、全長257mを29回に分けて内面コンクリートを施工します。11月28日現在上流側から54m地点で作業を行っています。写真②は、コンクリートの仕上げ作業を終了した区間の様子です。今後は、このコンクリートの仕上げ作業と同時に、トンネル下流側の橋梁へとつながる道路工事を行っていきます。



写真①: 仕上げコンクリート用型枠



写真②: コンクリート仕上がり状況

② 青美線貯水池横断橋工事

P1橋脚は、現在柱頭部の施工に取りかかっています。柱頭部の位置が将来の青山美杉線の道路となる高さです。P2橋脚は、基礎杭の施工中であり、11月28日現在、全体18mのうち深さ4mまでコンクリート作業が終わりました。

③ 青美線第2工区（その5）工事

2工区（その5）工事では、10月初めから本線道路の施工にとりかかり、山から削った土砂を運ぶ作業と、山を削ってできたのり面に、植生マットを設置する作業を進めています。



植生マット設置の様子



トンネル工事下流側より橋梁工事の全景を望む

これら3件の工事関係車両は、県道松阪青山線等を通りいたします。地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

【工事課 森岡浩然】

水資源機構の防災分野での貢献

ニュースなどでご承知の通り、タイの洪水による影響は、タイ国内にとどまらず、日本の自動車生産など世界の経済活動に大きな影響を与えています。水資源機構でも、タイにおける洪水被害に関し日本政府が派遣した調査チームの一員として職員を派遣し、国際貢献に努めております。

日本でも、今年9月に台風12号、15号と記録的な雨を降らせた台風が上陸し、紀伊半島南部等に大きな被害をもたらしています。川上ダム流域の状況については、川上ダム通信10月号で報告させていただ



タイの水害状況(平成23年10月31日撮影)



名張市内を流れる名張川(台風12号出水時)平成23年9月3日撮影

きましたので、今回は、隣の名張川流域にある水資源機構の3つのダムの活躍についてご紹介いたします。

名張川流域には、伊勢湾台風による大きな被害等を契機として、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムが順次、建設されました。23年8月31日～9月4日の台風12号では、これら3ダムの活躍により、名張川の河川水位を名張地点で約90cm低下させることがで

きました。仮にダムが無かった場合、名張地点の河川水位は氾濫危険水位を約30cm上回っていたと想定されます。

名張川上流3ダムは、平成21年の台風18号でも大変大きな治水効果を発揮し、名張市長から感謝状をいただきました。この台風での防災操作は、ダム操作としては初めて土木学会技術賞を受賞するなど、技術的にも大変高い評価をいただいています。

詳細は、水資源機構木津川ダム総合管理所HPをご覧ください。

(<http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index.html>)

※文中の数値は速報値であり、今後、変わることがあります。



土木学会技術賞(平成22年5月28日)

【調査設計課長 松村貴義】

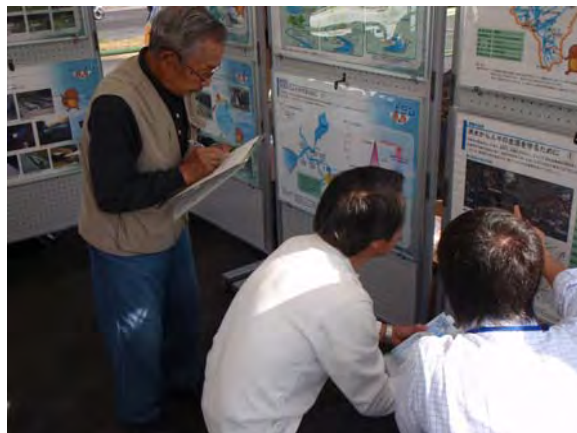


桐ヶ丘フェスタ



11月12日（土）桐ヶ丘地区市民センター駐車場において「桐ヶ丘フェスタ2011」が開催されました。当日は、気持ちの良い秋晴れのもと、朝市やフリーマーケット、吹奏楽演奏、伊賀市のゆるキャラ「いが☆グリオ」君のパフォーマンス等、催し物が次々に行われ、会場全体で大変な賑わいとなりました。

当建設所も、パネル展示を行い、訪れた方々にクイズに挑戦していただきました。クイズは、木津川流域・治水・利水・オオサンショウウオ等について



川上ダムに関するクイズを出題

の問題に対して、ブース内に展示されているパネルから自分で答えを探し出すといった形式です。クイズを始めてみると、皆さん苦戦されているようでしたが、「勉強になった」「おもしろかった」等の感想も聞かれ、幅広い世代の方々に楽しんでいただけたようでした。来年の桐ヶ丘フェスタにもより充実した企画で参加したいと思います。

【調査設計課 本田真章】



笑顔がステキ！！

イベントのお知らせ

【佐々神社】このしろまつり

当番が事前にこのしろを買い求め、このしろ1尾に米1合の割合で炊き、このしろの腹に詰めて柚の葉1段とこのしろ1段ずつ桶に詰め、玄米一俵を重しとして当日まで押しおき、できたこのしろの熟れ寿司を氏子に配ります。

【日時】12月10日（土）午後から

【場所】佐々神社

お問い合わせ／伊賀市阿山支所振興課

TEL 0595-43-1544

イガデハク2011＝伊賀でデザイン博

「質感空間」を意識した全国&伊賀のアートクラフト作家がその分身である作品や技を披露してくれます。当日は、展示・販売・体験工房などが行われます。入場無料、無料Pあり

【日時】12月2日（金）12:00～19:00、3日（土）10:00～17:00、4日（日）10:00～16:00

【場所】ゆめドームうえの

お問い合わせ／イガデハク実行委員会（えこころ倶楽部）TEL 080-6919-8863

編集後記

12月になり、気温も一桁になることが多く、現場へ出るときに足元を防寒しなくては工事監督を行うことが難しくなってきました。紅葉が終わりを迎え、現場へ向かう車中いよいよ冬が到来するを感じます。

もう一月もすれば、山並みが真っ白になっているかもしれませんね。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）
デスク 大友（総務課長）
" 足達（工務課長）
記者 堀（総務課）
松高（第二用地課）
森岡（工事課）



ISO14001: 2004

JQA-EM576m

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇